

先生方が各クラスをまわる交流道徳をしています

学年の先生方が教材を通じて思いを伝える道徳を1学期から実施しています。3周目が2学期中に終わりました。人が違えば人生も、考えも違う。各先生方が投げかけた問いにみなさんは、どう感じ、どう考えたでしょうか。(※3学期も実施予定です。)

教科書に出てくる登場人物の置かれた状況や、直面している課題は、みなさんが今知っている世界の範囲の「ごくわずか」です。より自分のこととしてとらえた言葉を、これからも「こころのあゆみ」にたくさん記せるようにしましょう。

- ①木下先生:C(16)「ぼくのふるさと」 ②野田先生:A(4)「小さなヒーロー」
③吉田先生:C(11)「自由の意味」 ④阿部先生:D(22)「銀色のシャープペンシル」
⑤常深先生:A(5)「「どうせ無理」という言葉に負けない」 ⑥渡辺先生:B(6)「思いやりの日々」

2学期の道徳科の授業をふり返りました

先日、2学期の道徳の授業での学びについて、人ひとりの生徒にじっくり考えてもらう時間をとりました。2学期の道徳の授業にそれぞれが思いを馳せながら、心に残った教材、道徳科の授業で学んでよかったこと、そして、3学期に向けて取り組みたいことなどを考えてもらいました。子ども達が書いたふり返りのシートには、それぞれが、心を使ってしっかりと考えてきた足跡が、たくさん残っていました。

〈子どもたちのこころのあゆみより〉

自分自身にとって、ふるさとがあるということは大切なことなのだと分かった。将来、ふるさとにいられるかはわからないけれど、今の地域を大事にしていきたいと思った。

夢は人生の宝物であるという考え方にはじめて触れることができた。今日から夢をあきらめず、目標を立てて日々それを達成できるようにしたい。

自由は自由でも様々な自由があるのだと知った。ほかの人の自由と自分の自由、どちらも大切にしないといけないと思った。

人は誰も失敗してしまうと思うから、それをなかったことにするのはではなく、しっかりと償って、その経験をどう生かしていくかを考えていくことが必要だと思った。

自分が無理だと決めつけていたものに、自分から一歩踏み出していきたいと強く思いました。

気づきやすい思いやりと気づきにくい思いやりがあるのだということを知った。これからは周りの人々に感謝しつつ、自分も相手の気持ちを考えて思いやりのある行動をしたいと思った。

★自分の学びをふり返ろう★

① 授業の取り組みについてふり返ってみよう。

1. 教材について、感想をもちて読みましたか?	(A) B C D
2. 自分の考えをもち、友だちに伝えることができましたか?	(A) B C D
3. 教材の考えを、自分の考えに結ぶことができましたか?	(A) B C D
4. 授業の内容について、深く考えることができましたか?	(A) B C D

② 今学期(今期)に読んだ教材の中で、心に残ったものは何ですか。どのようなことが心に残っていますか。

教材名	心に残ったこと
11月の出来事	11月の出来事は、11月の出来事です。11月の出来事は、11月の出来事です。
12月の出来事	12月の出来事は、12月の出来事です。12月の出来事は、12月の出来事です。
1月の出来事	1月の出来事は、1月の出来事です。1月の出来事は、1月の出来事です。

③ 今学期(今期)をふり返って、道徳科の授業で学んでよかったことはどのようなことですか。

友達や仲間がいて、一緒に勉強することができた。	友達や仲間がいて、一緒に勉強することができた。
先生が授業を面白くしてくれて、勉強が楽しくなった。	先生が授業を面白くしてくれて、勉強が楽しくなった。
自分自身で考え、意見を言うことができた。	自分自身で考え、意見を言うことができた。
友達と協力して、課題をこなすことができた。	友達と協力して、課題をこなすことができた。

④ 来学期(来期)の道徳科の授業には、どのように取り組もうと考えていますか。

友達や仲間と協力して、課題をこなす。	友達や仲間と協力して、課題をこなす。
先生が授業を面白くしてくれて、勉強が楽しくなる。	先生が授業を面白くしてくれて、勉強が楽しくなる。
自分自身で考え、意見を言う。	自分自身で考え、意見を言う。
友達と協力して、課題をこなす。	友達と協力して、課題をこなす。

